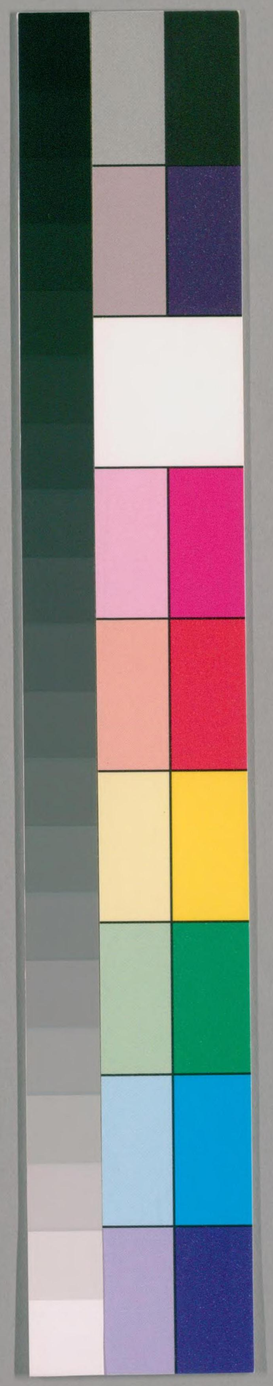


国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28

ガラス使用

13-28

景清上

今宮軍勢乃伝代城外(えんぐん)(よ)
しく勢(いきお)めりよ舎弟(しゃてい)
なけくまさらせ給ふゆらい
まうくてまんそう(ぐんそう)え幸
まりくくこ二宮の法(うほう)
屋うをのべ給ふまいな
御(ご)とそやこまりけるのひ
めうをめされいふもちる法(ほう)
変をあけうせむもんぜ城給りる也

よかさらんみ畿内（きない）のうそくいち
をのすときくやぬ田とその伍（ご）旅也（なり）ちろ法（ほう）の彩（いろ）り
ゐ月をよとゐくハうまきしくそうき田のくま
まうかうらいのふくハうのまんさいをささと
してゐ月もせハかあるうちのかきせ引うまき
をうせ海（うみ）つまのさのうちぬ引う彩（いろ）ろ弓まみ（ゆんで）
まきをそそ彩（いろ）けう地（ぢ）ちろ二十人ゐり彩（いろ）り
ゐ海（うみ）一ぬうせちうえのまさるまうゐ引うせて
めくハまきをそそ彩（いろ）ちぬとめくは
ぜいろ七ふ余綾（よきうまろ）鎧（よろい）舎（しゃ）衛（えい）の伍（ご）せいろ十万余綾

とそきこえける

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

せんぐんをばおんもあいあつ
まうさんとへとそそいそうま
乃門いゆみをるうめまふ小山ぐ川のうやをの
くうこめ給ふを中りうくをてういれ門
そ大事るまとそちくぬとちん
ありうをめさまうの箱の扨々面余緒
そかこめらろ　うくてるまうり　そるうみとり
まうさいちうとそこきまうの
まれてそのくめうまをとう
お箱小硯（すゞり）七参陽（ひやうえ）うげそよまそてりのくめうまと

とこめたりあてまきまふのうよ
き度あり　ちくさ中いと
人みはいゆまれひんしめ
やとうこなうりまる事あ
まれかまうくうのなんとの
初うえ乃座（ゐ）とはそんすまきを
神ませてものひうやこへのりはく軟
を一かうるまうり中大尽（ぢん）夜の
せくやと思ひをれををうり
いそくうのひうやこへのりをり

清水坂（きよみづざか）

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

のかくこゝろあこがれて遊女(ゆうじょ)ぬれをきる
みわさかくすちさうをまねう走(まねくしょ)首(こう)よ立(さ)
よりくるのんとものやう成くるそうをみこそう
うけまりりちきうるさはせつかうふみ
のまくみそうりきうけきよあるようろ
あふていそさるのんとうへくく
をとをひきみんとやとぞんまを
母をくろきまをえぎするひのもくまさを等(さ)
ずりなうふさんくて寄(さ)りづれあろをうへ
ふきんて上等(ぎれ)きつうとおめうをりちゃうをし

のけさをめくうりをけ扇子(せんす)を持(もち)母(はゝ)
うの里を始うあさまうとい十文字うさんまくうめ
よあひうをみそを成そ恨(うら)あうきうとく
まくふはくこうのる紀るの天八すあり
きうめのをる海ちうるを　さや
をはきんとくりそうてのまさにうひふ
てうくあとのくうこめくまてうひれ
もんを京清(けいせい)あみさくわ祖(そ)神(じん)めそ縄りまり
ちあ委の清うちるる安田の沢命うを成こそ

ガラス使用

あ〳〵けふこそとうめいなまいにちなくこゑ
ううそあまいちもゝのく〳〵ほう〳〵
てうひの門とはちや〳〵さうもん
まとようけきよいやうそまうもあて
あまたのきさきまそうりやう
つ〴〵升のやうめうめいちうみ
よの〳〵小こゑたの〳〵やうまの門ち
ら寺東大寺のうう〳〵うりまん
ものなりやあや〳〵
しそうへとそやきうまの〳〵ぬ
ものより〳〵城さう〳〵めう
うちあけあ〳〵りきの事ゆ
里乃教いかり〳〵ろ〳〵ううのかり
かこゑとやく〳〵ありそまうもれみまり
黒金(くろがね)作きそそ〳〵ちもとそ〳〵ては
ちう〳〵へとのは程也さうは
ませいや三百余騎(よき)うち長刀
とすりあまとそをうう
よ里もあ〳〵りまぬもとそ
一けいち城とあうとそ
余談うまん中めく長刀のま

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

すくをゑ〳〵くをゑ石付城うひ
しくとものひさりをちうちやうの
三十騎もちうまつちうおきうみやの
乃ほさりの女よいくまうすをあふせて
まつとをんちもしきりのやう城むまんて我
分みさんとうちうけてあすは方へ
世間乃てい城きうおうり

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28

ガラス使用

のをむすてのひけ大ぢのうひるまうて
をつはめうめとりきこけはめようけやせ
年田との清流なり ちろ清○第くをせいき
又百余綾(よさ)うるさるさやち月一はとま
里あまとてをつうくうけきよいうくり
まあくり連わるとそんをまたくうけたり一
をひ我とあるとろうなけをそあさまろ
をとろ里とぬいてみ百余綾我うちをみ
きりのりうをむをんてりうち月りさんとうち
うけてくる里さ我ふうけきよいちのひて帝

あそのりをろうの景清(けいせい)う梅うまひいうく
もんくまいもむくやもん あくむむんや景清
いまいせんをう川きそくうる月をういて
当をりしくりふをして宣男君のうえ記をうこと
もやと思ふあろのうちこそあそ重る重宮み
ひと川のなへあり一とせ三うくれうめ三
升まをとのこさやうかうるせ路み三升与
なるくくのまれや重歌へ重妙をあ今大気
せんきあいて亜妙をうのちんをうおりくせ
られきろふきよりをまりうう我(われ)

のちんうひと書てをくにろちん
きうう初(はて)を祝るんもせの
余談をそのこ一重起へせ
るんとの大一のうちもむけう一人うこの
まれきよりりとてきよ人を今いせんそう
せむきこしてあ〳〵海のりうるのみまいそ
あ〳〵むきんやさいせうきのこゃ大気
うちをふうりをもこ海へ
はきてまつういの人
のうこーをうひと

とくさんこのうこへしきろうまくこう座敷ま
こうかさをくひようけかりそさえをたうり
とーるんとをは言いそ〳〵祝てくやこへ
のりまりるこさうやこんみやーれのさ
里みてゆくのせいみそのゆきありひをろ日はい
こう祝なこへひさ祝くこーこうこいうら
まのあろ祝と紳士せあまいりみさいせう
こ月うろ人をるうりをとふのう
重はとふのろ祝のまて鬼神う門を三
りそくるうこかくいりをそく

めくきうち我――平のこと
なつてくてさいせうく
さうゆきりへのはてふつ
裏乃あろあ川さのやの
せうとそ書(うつ)たりをと
たくまゐ(きて)乃はまよつき
もあふ乃文の死書の時よ
あくすてその名をうく
とそ書うきくうちのなりせは
さいせうをう令いあやうりけくものそ

うくよりうけをそよもそ
まろうい人のまかひ我しそ移(うつ)いや
と里ひは栄の町へうちあくんれうー
我うひとあくはきめ弁(べん)よあうそえ裏
のうちものねうさみへ
うさむさんやうけをわり男をみと
そうくなりをみるをへまゆへそ君れる
とおへをうくとはさふれをり
二さうちんはうのあけへ
はうねのひをうーらうなりる

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

[illegible]
[illegible]
[illegible]

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28

ガラス使用

あつまりうちかこみてその
うちまつうけきこえあり小男やう我ゝ
ちゝのかたきのうち狩ぐの親（かや）とこの
まゝさまひこうゝゝまつうえみてうけい
ちゝぬのちゝけゝみそちゝぬのそ
とゝなのらせ給ふとうけこゝ海つゝ一騎と
おりゝみゝセ生ちのきゝゝんとおくにはさま
けるくゝをちゝけこうゝの一ゝ海つれ
そこゝいむ狩ゝりそのゝ俊ますゝあくゝん
ゝそゝを見せんゝういのちゝけこゝとまのり

あひふみをいつゝみをおゝちやとゆりふこゝろ
をさ紀とゝてよこうのゝをさうとぬきまそ
いけをみつさひこうきん
ゝまゝいてみきんうこゝあゝと
まりのきとそをみうゝちゝ海とのをゆりん
そんおうとのこ海ひそ尺二すれかう
ゝおいてゝまうゝあふそこゝられまりあ
海うりはつゝとゝよ法ゝまりの人こゝ
一ゝうゝまゝ地りたけこうきをゝ
ゝそたそまつりけこゝよ中うをゝとり

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

きこを称らひやせくるをやう
こそちゝぬものにさそらんれやおはようるよ
夏をや　うけきよんよ田ふやうやくく
かの事そうゝ志とき
をまひいむやくなりそよせんそうとの大ぎ
那球そのことをゝもやと田ひ百列あ門たよ
りくりのひさうりとをやらりくゝ球めされ
いつふ拠系うけまりき今安教的代球れたり
とりんをれそうそ連球りふと
やよ平家のさふひ大的恐うけさよと

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

[illegible]
もくらおーくそんすう
ぜちうーてすくよもあ
あくは海へぜまうろうろ
をそのうすおまうとうし
始てそのをそいく
ず七条陽うけきよぜ
六くくものへまのうせ
けこのうのうこうをけと紀もんとうき
うめて京白川のほくくよなほうふくこ

十月そうのさーうをなすうまり
うまきくそのかの板のうこうにあく
ようとや女きこをまふてを志まうう京白川
のはくくよそくうみてこうか
九年ほまうのあく七条陽京清を
うくむく書てそくそのあ
ものうさかうのみをめまくうかもうを
うう河へもうさやと思ひーう中まて
うろを引うしまてもそーー我うろ日年六十
六ケ国小平家乃知(ちぎう)約とそ国の一本もあうを

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

こそ家平一味のそのとそ
もろもろむもをもろと
もきくうこまうをうけきよう
不面(つら)ありひをせんる
きけみ二人のわのあくあま
事うこ記うきこせつく
とうせ二人のわうをふそくおとのろい
くをふかこらんとありひ
かあ後のうらそ祝そ
ちうー六波羅(てら)へまいり
礼(ざ)れなそよ

せそまりてさう後とやあく
よお風めーあこうけ祝めされくく同せ
後へもあこうけ後り
好く客を人乃志くれを乃理とお後めせひ
なのひさうをもりのお門うふさひ志平家
乃法代の法時うりをきよ川祝志んうう
月よ一安い事りさう後的る名十八月四のこ
きうううとろへきる今とる大酒
乃事なまけをもくむる後お後
をもうんふ名へしそのとうきうう

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

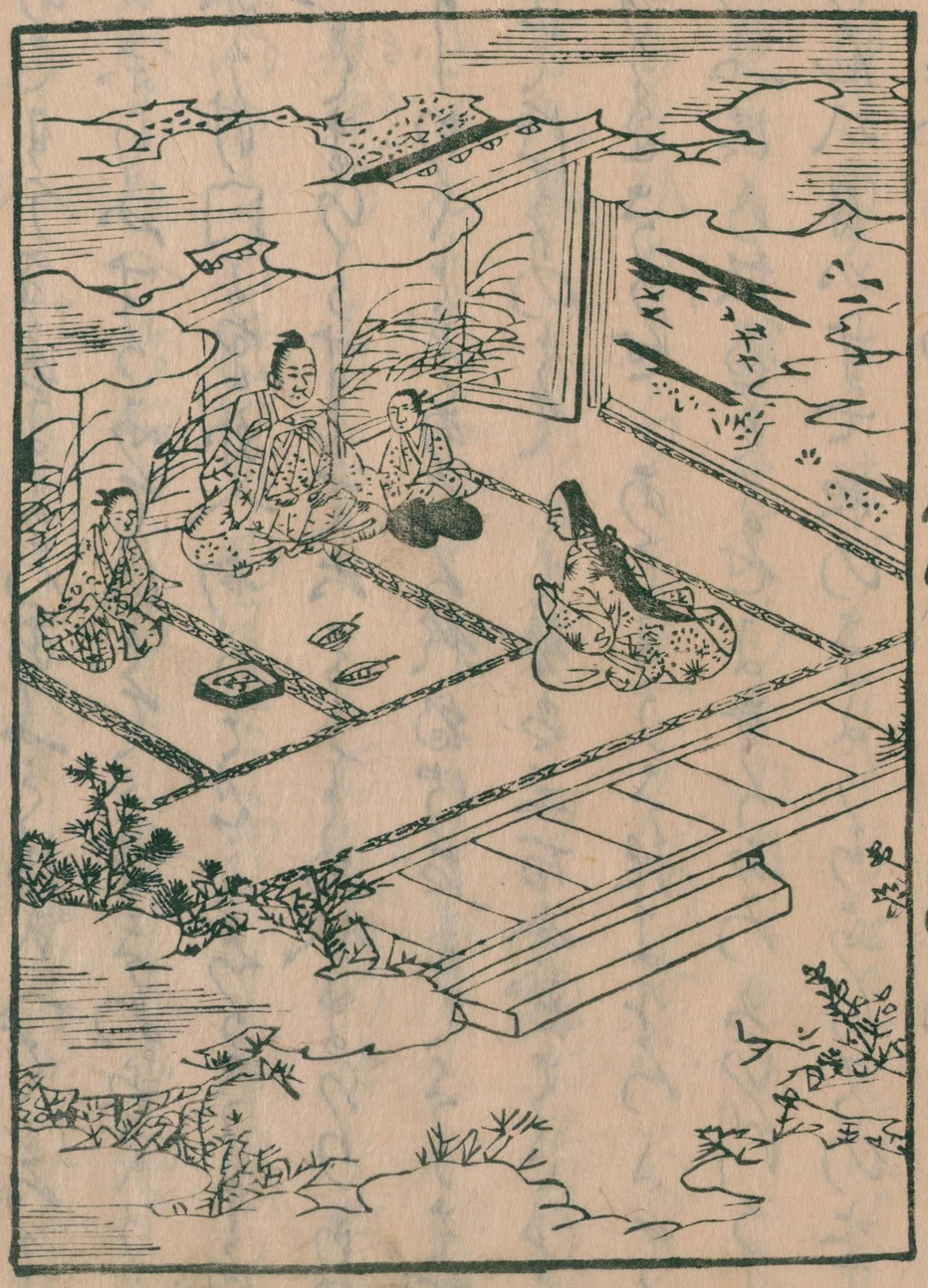
国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28

ガラス使用

あらむしきんやうけきよもをけ養ゐもちゐ
して的日いと十八日清水へまいりやへまいりやと思ひ
毎州あり共をおそく出日ちのみちうち共も
日乃くまかくふきよふのかさきよ成
我盲ゐへ立まいく門かくとをく法事
うちうちをたそとあうらやく居ようもい
りけうけきよなりとそもうこんきうあこと
あのあよろあていそきうちお門共ひうこさ
うけきよをうち居そあやうしきる二人共
ともいちく共そうふ

あこうのそこ共むりけるうふせいなり
りやうけきよ平家の法代の法そきいゑ七
芸楼うけきよとそし云敷ふもふけゐもゆく由
まん一時乃まりてゐもちうきんか者そるのや
ふるくくそくそくんをゆうよさもゆくく
おいせうりり共ありう平家り
せいきふ成かこ座り共まそれともるふて
景清のさこそくうくおそもん うまへ
をもくうる事るまたあるる共ちるく

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

あこそまううあよよろあ
う糸らみすろみそひとそ
みうけ門よる外へあるる
へそまのろすて六そ
ようめくとやあくろ教物ら
そ法ろのとそ　も勝
ろまさろせ　あこまろ
あよ法ろ坂色そよせ
らん八月い十七秋のさ
ろふ月のあくまなす
いくろ色うくろりりさろ
なひとあこまう法せんう
の苑まろくせこまきの月ろめをうくち
をろうひまさらくちう一ろんの毒人とやせ
ろも九年ちまり祝こあうし恵七参陽祝
うこせんとて大勝そのし
お鬼狭(きざん)乃ろくなり　三百余(よそ)綺のをの
門のあろ法のぐのまきよめくをきわろ
分いうへ法のといりくろ今ろ下向て
きあうへうけきよとそおろうけきよ

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

りんさてをおきあさみをひきのうへとうと
をにおくことうをはくくとそていやくは
身をきるへまいりねんと見るうそまき
松いふとゝ小日中六十六ケ國ハ平家ニ知行
そくふの一ケ所をのけ一所ニ住者と
てハそまうしとうりもふうう事を
うう紀乃方へそせうしそうとせあとれ
ゑいくをおやこらんそ思ふせいんくそうち
まうむくうてまうふようふのいまいそ
おことうあまりのみをきさふいやさをひ
そのとゝてうかふをこゝち残りさうす家清
毛をそやある事いちんそあく事
をちんす事をみちのいろうえゆうそや
さまけてんのまうしめんをうみをせれ
みのまをんなおゆすれとゝ
はくくてそふそうひにこうそ
あこまうはせんそりふこそをそうをれ
ゑんにおくりそはのうれ
をみのひあるくそあまけまよ二千
ゑ三十騎ふそのうゝ残るうくそ

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28

ガラス使用

ろんまのちやうとてちゝ
はゝあるものとを一ぱ
さらこゝて兄弟のわう
しつゝおるゝまをそ
うこへかゝるまをそ
やこゝろうまあひのふ
てうまさう
しゝちとろんをうけ
ちつとゆうせはゝゝ
まさられうんこの家名
兎ぬやと思ひ
られうんをたうう
うちふかをはんと大
人こあまは
のうけもをもかりと
うけさよゆくあふえ
のこちうと活而のう
こよさうひあるゝ
うつおくのとろと
りまうひくそ

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

あさたそうてさうといふ
まくおさんくとそうのよ
ねさ我なくのこへあけまそうとそ
いくのとと戸我海へおおそ
うらへとひうりくとおの豚けともさうるみ
うう紀ねまうさうまりあまりあまてんねさ
きふまのりさうといふまくうう三百余(よ)騎り
まんなうへひうりくとうのよ
うくくたとふまた玉んに海らうう
うあをねうをまけあうへありるまし

なお大せいろうへまろてりみかう来
ささかう曲くもてうくまて十文字八川まる
かさといふものうりまりそんはりて
さんくおきうたりまうんのうまの
我七八十騎(き)りふ也大せいよ我ねみせ

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

来兎へまんとをうちもらしさしこうべうつて門をちやうつきたてくとのひて立たりきよの公申を片実綾上下なんにんまるうをう

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28

ガラス使用

玄冨家清いあこまうのたりまうんちう
よむ句くト屋うりふあこまう今更そまうう
起ふんとくろへともうこ紀のあ務うをく
びやうめくちぐこい参陽(ひやう)いうまれ也ひら海
ドてちうほとそて天ぢやうりさまもふせさ
りさをけ屋句く家(いへ)のむほよ法ふとありさよ
ふざうの事なまぢ度のきほくきの主家(ざいけ)を
十四ぬ間(ね)たちのくそまこる里もやー北半へ
法ふと八世まん乃屋うちぐ守けまとる

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28

ガラス使用

ちらくうそいなりをまよりて観音
乃市街へよまのりうろ志川うふき移んちく
京中巡りてきうのうかみうけきるう京
随所ハむ屋くちよせんそ落ゆう
もやくおそひちりやくうろときこう人
をそうその大玄目祇教
もの白川うち渡り 祇園
うろまうちむを

あり。海乃介の黒田の方(かた)へ行(ゆく)
抜(ぬけ)参(まいり)ひたちの国よりこ
うあみへ参(まいり)三十三度(ど)ならい
ざいをさし〳〵せこ作(つくり)左(さ)右(う)
門(かど)をくゝとうくうらうち
やくろうをらすうけ
こり門のあうをひさ(ら)

いりかきのあまりを二人(ふたり)のおさ(な)あひ者(もの)う
りひけま　あるむさんや京清(きよ)二人のわらを
左右(さう)乃ひさうとうとをきう紀今歌(うんや)をまう初
まてくらら兄(きう)弟乃わらうとものあり作(つく)う
をあ乃あ乃ふ〳〵ふくきふいしてあま
まてくりたり　姉(あね)ぢんうぞ(ろ)ともて
源(げん)くてそねうりまう　あ
ううてのくやむをのうは
事(こと)を又六(ろく)ろうのにあ
ト云(いう)ふこの男(おとこ)て

らんをそりの大ぐ(ぎ)のごとくにして
こめあまたも十年ようようとおろうたる
方へとゆきさうな梅きーあ
そのこをそりへおりてそ
くくーあまとや乳母きそ
しろあこようや九年ち
定こそせうそろうのう
のそんなのごりきくあ
そくくへとのはちがやうな
もう城とうくふ四さ

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

まり　梅(うめ)衣(ぎぬ)うちよりみくやま
くハきてうてきのうは
そうけきよをいてさまよおさまれ
大文目乃法いのうを始りて大文
ぢまて梅そそれうまをこうとがい
なけまともきこゝ約てきのきよ
いそれうよみく筆者(うつしや)さうせられいやその後(ご)
めてるうまた京清(きよ)我めのうせうれを
へまさきやとおめ
我あろ大文目をあ始うり
を談乃まよまうこうなんとくいてまんも
さびかりや　むさんや我ひめのうこうの祖
をいくせんるきけなのちこうやまきしく男
法ろうう二世まくうもしく京清(きよ)我うれ
ほうまこうきうせ始へるうそやく
ふちをせかも男をあ川男
をいくせんありまさびよ
う里こかりまひや取うなるまでこのまろぶ
みる里をみう里をまこハ梅びんなり我男を
ものよたふまをさうのうへうをか

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

[illegible]ゆきみやまかくまを
ゐをそさらく来すゑのもるいちりそく今
ちくさえさふのこまろうさそふあゆをまち
ふせい我子と孫の姫(まご)の姫(ひめ)ぎみ大変(ぐ)ごの
まくきらるゝた永清我いきをけむとあんし
を殿しておもしまうのたぐのあるあれ
うらうへむうこを海(うみ)まさす うぐりく
きけうやういあくいさりや大ぐいばこ
三日のあひさふきうせ給ふ殿うう見
のものををもりへはくく[illegible]のそむてかうみを
むる殿くとおりへた田ふそ[illegible]ふおおれえへもすりり
まうしをうひ給へ殿(との)うりはそすりまう
ーまりくするまさすりるう筆(ふで)ふそあ
をゆよおそもさまきろ殿うい今夜(んど)大変(ぐ)ごう
ふ海の俵(ぎ)殿のふ池(いけ)ふおれふそのゆへいさこ
てう歌(うた)のうけきよをふもちろうのそまうり
月くろうしやさせられてたくいこやこ
まそきろるりそ殿うきろうるそのも
るもる殿くおきろうを一対(うて)ほくらあ

そのさうにおよそさ信濃よくうんのもち
川さむらかこうに成さうのむへてそれより奥
別へてゐいむしやをうのむへしうのゐい
むしやとやい大くうのうあ来をひるう
ゐ風しみなりうまうをしうのむさうのなるけす
方金銀そいゐしてその大勝成いんそうしてて
いそさうやこへせあのかりうち勢多来る成
さしみさなこさうに称小城成してたくて
記さしき予盃のあうそらくらうよをんと
打立おそうしうに記をはいさうしてまれうけ

さる大炎日うう一月乃女てうへ美濃新
へとあそうしてをもりへくうしり弥ひまり
三日とやふあの出をもりうりうけうよ
記うのそもいをん付りうりうけうよ
あうめそたや大うあうのなひそみはかの
そへしものは出のいそはうろ事くお屋
めせといりみそまうい大変月の作よ
ちさうろく異別へくうりは三ケ年みてま
のあうゐしまをきいみか年又ケ年ゐる
そのなうたうのくなり

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28

ガラス使用

はいのちふうりうそもとおりひそまこるもの
ひうへしみ於色そのうちきそそのもの
そのゆへ小一时るりとくのりは今小
うりうそやと思ひて一是小与ふえ二ふえ
三ふえてくおうりあるもあえひう
里くとのうるふふあれたそはうれ前
小おたくあそ色くちふもふうはさを
あまけふ乃日そ何时やしんとおりひてあり
あ我のひてそあまは私ふうしの八川れ
ういこ我とうくおたりきり　先清あへ
ふもやとおうひ観音のは海へよりうう

ふりうきおんしてそまよりも六そうの
はふまのり重なりそのふのう我ゆるまそ
もあえ店お乃まりのうまうう二まうう
まそたうりきうおりをうんとももろん
まうさうしてまくきうねうけきよ我
はらんもくあのまりのうまふたうう着い
いうるそのそ同於ふちあ母のそこけやま
ずよりくやさうてあまこそきこてうてさ
乃うけきよまそうへ私的やうけきよまて

十一

[illegible]
[illegible]
[illegible]

ちゃうくとうち付くきの
鉄乃うちいわうをやんて
しくまりてうたるいう
あてよいまりめせたゆ
ふとりくをいまうこ
天ーやうのうーへ
あーをたろうちひきい
ーをあーのちんぬひろふーてちをめくへ
とりちへ山おせ十あく
のたねまそあけりこ

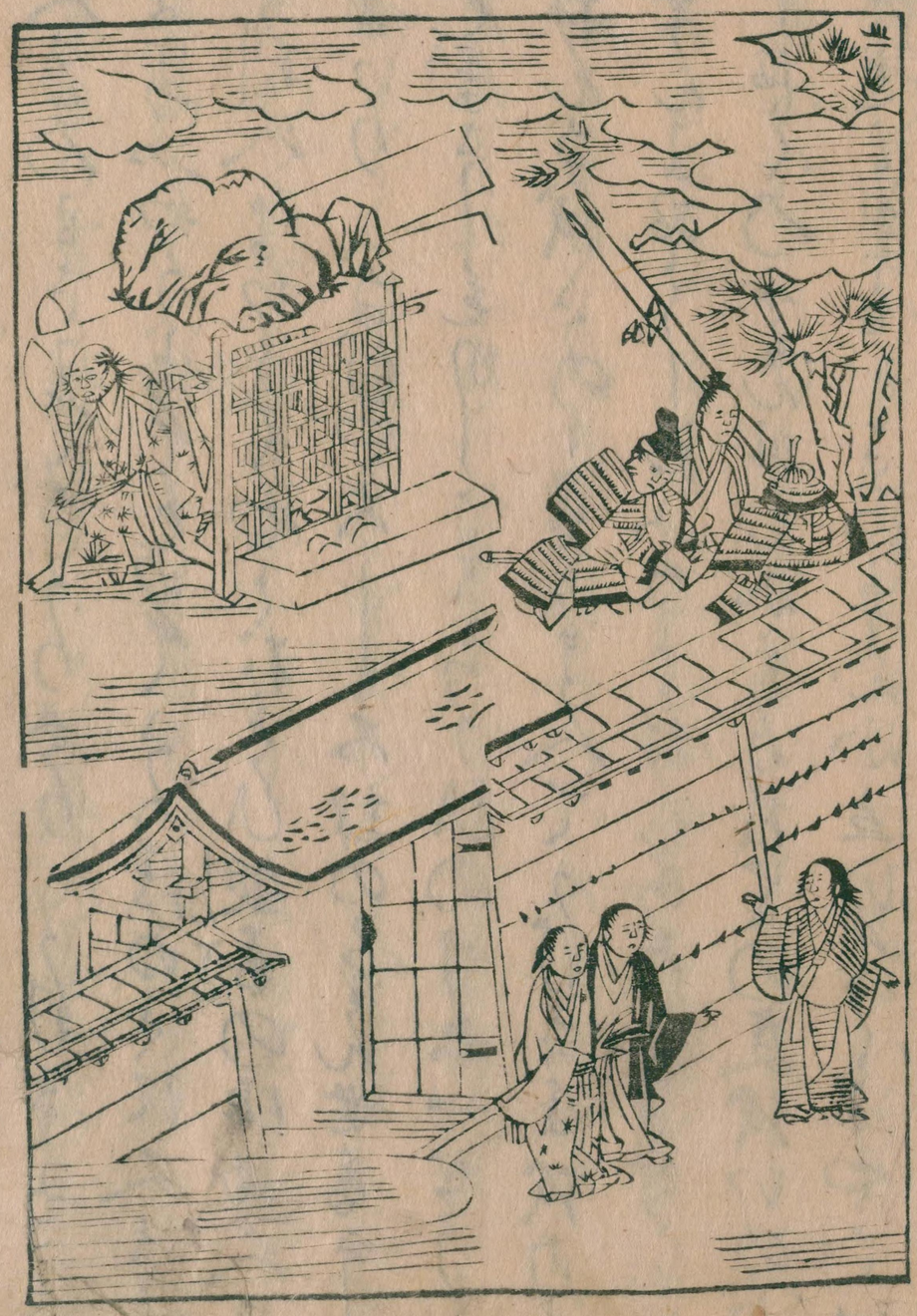
国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28

ガラス使用

ひつたゝめうとやさう平打をうけ
きよをいこめんこうあみのふとうこうをこり
ちやうはゝあうの八さうさかのこうく
くろりまよりのいつさうをうへうとら
はむきりこりとうのきのはるこまらあつて
はけさうせらひみ狭かりの大はく我三かん
まそうせさりむさんやうけきよろうみ
うちみてかようものきいきもうこさらく
ものきまん服ありせんこもの
しもうこくところあり　よりとその内往

ゝうへ大家目いうまともうこあやけしやく
乃祖父みて海ませ名對面あうるこの活
ちうまり影うとやて梅承の源たうけすあう
ろうの戸我ひういて大くく我くくしや
うまとものあひさの鉄者
乃活ちんらうさこそと北りひ面こまくいさ
りういものさひの宝まやうゆはかさひて
不知（しらず）と云〳〵せんいそき國ふくろり活へとの
活ちやう也大家目さこうめきれて　あゝ不知

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28
ガラス使用



人るの　ときこまてうつり　ゐまり　うけきよこころ
よ里ふやうとそもいそ
うへ　まいらうやとおも
まいり　うむや大一　大
もまさこもり　ここちひのす
物うる我　このこうまん
きんよ　ゐまつ　ゐふまて
やゐくの　ん物ふ
そまこの里も　さいもん
うこをなるむまけそのも

いさりや平家の一門こゝかしこの浦
座のときいきんくを
ふかさつくるやうきよしてを
くをゆうのきよくらんかの
一さうさるひて時ふも
名のこのうりていまいる
物うう人あまこの里にふあこくへをものゆう
そもとけ取りへをうとうをせし
うあのとの縁うまこと記
ふうう事うねう衛門のうちゐよて

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

竜んうこそ
はおおありなふとそ
ろうしやうせられいそ
竜きとや教経
とのは給也彼
源六郎
あーらんへ
六条河原
ふりうけきよ
我ぬかんとな
あまをとこて
仏神
ありもうけ
をさうへ
あまをきく
よ十方
三あよふ
ふうさら
きり給へ
まいは

竜きとや教経(のりつね)
とのは給也彼(かの)嬪(よめ)
源六郎(げんろくらう)
あーらんへ
六条河原(ろくでうがはら)
ふりうけきよ
我ぬかんとな
あまをとこて
仏神(ぶつしん)
ありもうけ
をさうへ
あまをきく
よ十方(じつぱう)
三あよふ
ふうさら
きり給へ
まいは

景清(かげきよ)

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28

ガラス使用

ちく用添たい(ひこ)ふう翁(おう)をそ紀(き)朝(あさ)乃(の)
はめ(こ)ようふう教朝(きょうあさ)をもつ
ゆ乃(の)法大名(ほうだいみょう)をのく首(くび)
きりそ中(ちゅう)ふち般(はん)のもこけ
と志(し)ひてくひの志(し)
六波羅(ろくはら)乃(の)首(くび)
あくふひとのみきあ
ろうふみ人乃(ひとの)
ふふふのち般(はん)
あくふ般(はん)
うのうふ人(ひと)
ふいくそまこの里(さと)
まり物(もの)とて京洛(きょうらく)
これはそこの里(さと)
いくなりはそ一人(ひとり)
うりくりてちくく首(くび)
そまこ般(はん)へ

きこくめさまこてそまこゆこ
人乃(ひとの)うへあそいふふ乃(の)
あく般(はん)
うのく人(ひと)
ふいくそまこの里(さと)
まり物(もの)とて京洛(きょうらく)
これはそこの里(さと)
いくなりはそ一人(ひとり)
うりくりてちくく首(くび)
そまこ般(はん)へ

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

取りあそぶそのもやさ
あまのそうけきよう
くひともなこをいる
きの夏をの給みそのう
きよう
よ付くちとふんよ
給へとの此処也う
もくくあいきさ
まは逗のへとう
すまぢかきかむ

不同とはやなり
せんもの
すてお
くをみ
ひうの
そう
こんを
けやま
うのは
とも
命二

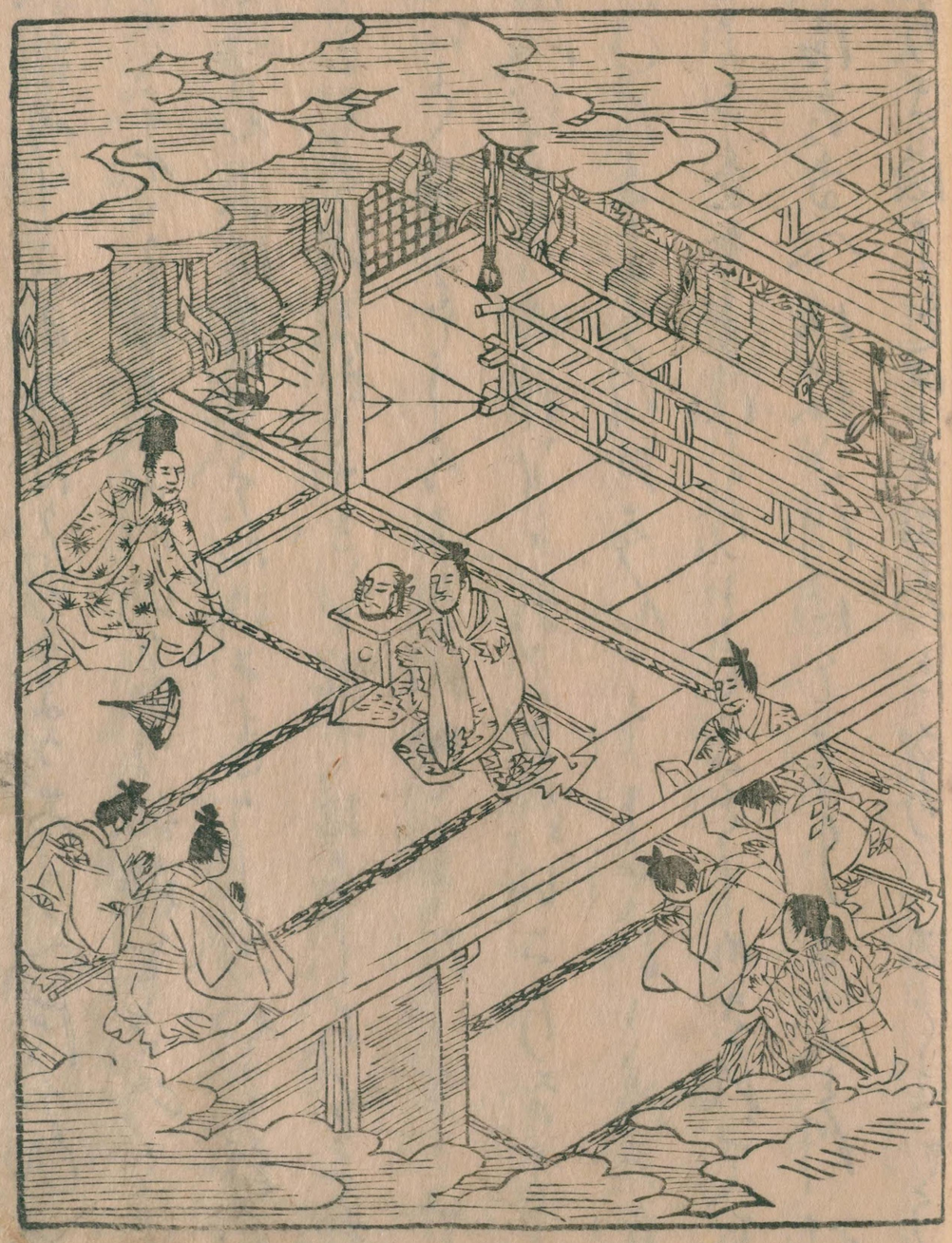
不同とはやなりよくくくしてますまぢ
せんもののはくまでおそうまのうけ
すくをみ初のやうくるもうんもきれ
ひうの多也給ふそや　ようとそうう
そうやまし　やかうけきよのうのせん
こんを仕りかる里屋くよあ川うらんそる
けやまとのは社あり　あるあ
うのはちやうやいたとひむこんを命すう
ともうとやとますまうう里弦さ記たてん者る
命初無那乃ものかをとりへたとひむち

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

むさやうの事とは申ながらも法衣ちよつと取
やさうんものいなふのうちひれひるきそま
かさつのさんけのきやうをやき三川にかうと
忍ふさうあるひ　そせんしーやうちうたうや
きんもういちのともかうりうりあひまーりり
治ふ時をあり　あるひいろもきむめんふ
あひまーりり　せきやうをうけ治ふとまを
あり　あくひのそくろ死豚よのそむてき若ふ
くりり治ふ也ふまんちやしーやるんきらく
やうういめんてんういせ　大日とうれ仏

ろうれ事とやいその男かを
きんのろひ城きうとやし申せをうんいれ史を
きーまう移んのちりをそくひかんらいきう
くのそんよふくありけまうけるく
もくそんおんいうちれすいろんのそや
そまうちうけ城きろんのまようる色治へり
大慈悲ん大ひやうとうくんおくちんう
せんちやくちんくうくんちんいせちん
むちやういちんあまやを也そんうんをれ移り
のそこまそをあうーる海やあい大むの也

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28
ガラス使用



座くとそきうけあまくしんとうとう
けなくをはくくをさうむへやせは鐘舎多を
さしめそその座うありしくんこうん
きこをうめいしはくひはいそそをうつう
てみならいをそそきのう

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

朝ゐさおやをうりうろうへ行ひを
そそうそうけきよいうりの仏弁をさのこや
てけん景清第くさんいそまうーちやく弥ん
うのもも弥きかうきをうきを射てはちーちうさ歌
をはくはとうふきをいぬこたこて
北へいうの佛弁をも教やされいさりうう
けのたきうこれ弥ちんうまていと清通夏
をよきまをまけよりとうもこーめされて来
山清あるへは彼これ時とりきよこれ
ありさ海中を中こはろうり　あとこはう

為をうなおきてはちあうをうとをーあけく
みくーをうきこそきまんけのうへりそな
りて　はる神(ちん)をあの西谷(ち)血いひとへよたき
のこくなりないちんこれ弥けうらいちん
なうとこまてうふちうかなふ彼
心うーはまり六こうとのよ多けくありけ
まくかやをまけ掛いうこうこうとうと
法寺(よど)のそう弥よ人ちやうし一方産のまを
たきみくーをみそきうりあせ中二夜清の
うとこやはふそありうう紀　よりとを給

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

きうかありてせんものふ給んと思ふ
うけきよよ對面ありてものはちやうまで
いそ紀はおよめされひとへよおこしをけはる
乃觀世をとおうこゝなりおこしなうちやう
るゝけせんしものゝ清くをニ女うらゝしる
う仰ありるものうへをたすくるとものは症
なりうけきよ承りおくありうことのはをけ
やいそとゝを京清り十六のちうまを三十
せのいまよまりうこうまをもうと思へいあり
かさいうきりありうまとものはちあうゆは

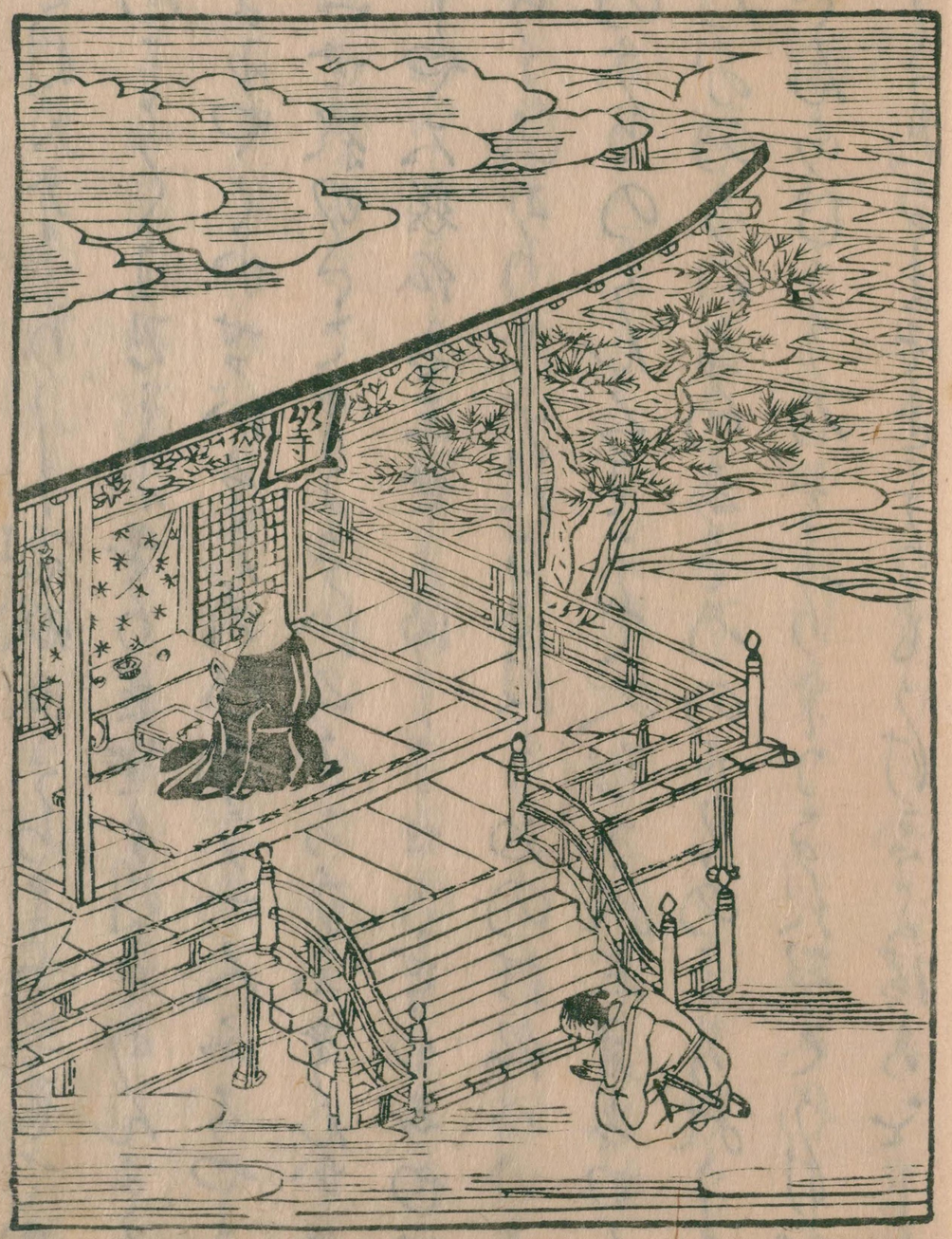
ねいけのときの不知いりてさうそうけ
きよ承くニ方ちやうゝくいよ
二方ちやうあてせそは方町あ
うまのちいおくちんをひまよ
ゝうへいうけきよ承くやいや今
残ますけゝふのこうこう刻は給んをそへて
こふ君い世よありゝへーともそんせゝうり
なゝゝうちねりゝけきこをゝんゝひ
あこふあまこそ君のうくゝこよあるまー
かうみうゝ兄ゝさそと思ふ而ないはねちり

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

箱をうせひまてそまつ御ん供そうさいかうへ本乃者うとのうすることをもうしあけまつるこうしやうなるひと乃くわんぶくをうりいろへこのむことをのはめうしうるわれ物沽渡をするうさせおひさまつ虚去（なりど）ふ三とせうふて古人ひとり乃のとう松とう我物乃そちおうさまひかんをうくおうまつ御ちうのいのちうりうとけうしやうれ事をややらんいふけきよあのまゝやこう

ありたきう承清うけ御ん供乃ふくおりひをもうしあけまつるすてやうしやうなるひと乃くわんぶくをうりかきまつるこうしやうありうけきよおくるを義　二世とうひしてゐきをいりくおうしやうへとやせをきあひ日向うやう記乃云をう御りうと沽判をすんてうさまゝうしやうして承清あるされまうりよおさめてはおをはまうちうみきよう

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28
ガラス使用



よまり三百三十三巻の觀音(くわんおん)をとくしてて三ゐ三百三十三度(ど)の禮法(らいふく)をまうあうさやくそんおんの三十三ちんてう身をあんじ十九せつかうは法をのへ給はくらんとそ給ふとはいまこそおりひちくまこまをあいちんうまこうもきろひろさいてうけきよかう危(あや)ぶまれてくしをくて

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28

ガラス使用

うらなくなりしこそ哀れなれ
のこりくまなく尋ねしかども
よもやくかせいそんだひちう一人ふもやう
二世契りしこそうさいくらをちうふをんや学
しや大悲仏をさとせんものをと
ちひろうねの供仏いゆあ
のうちのうんくをさそてみむされ三界をめく
のおのちんみきろのようれこ
もんあむうう乃をりこうるれ
うんそまそまこうもうけきよ

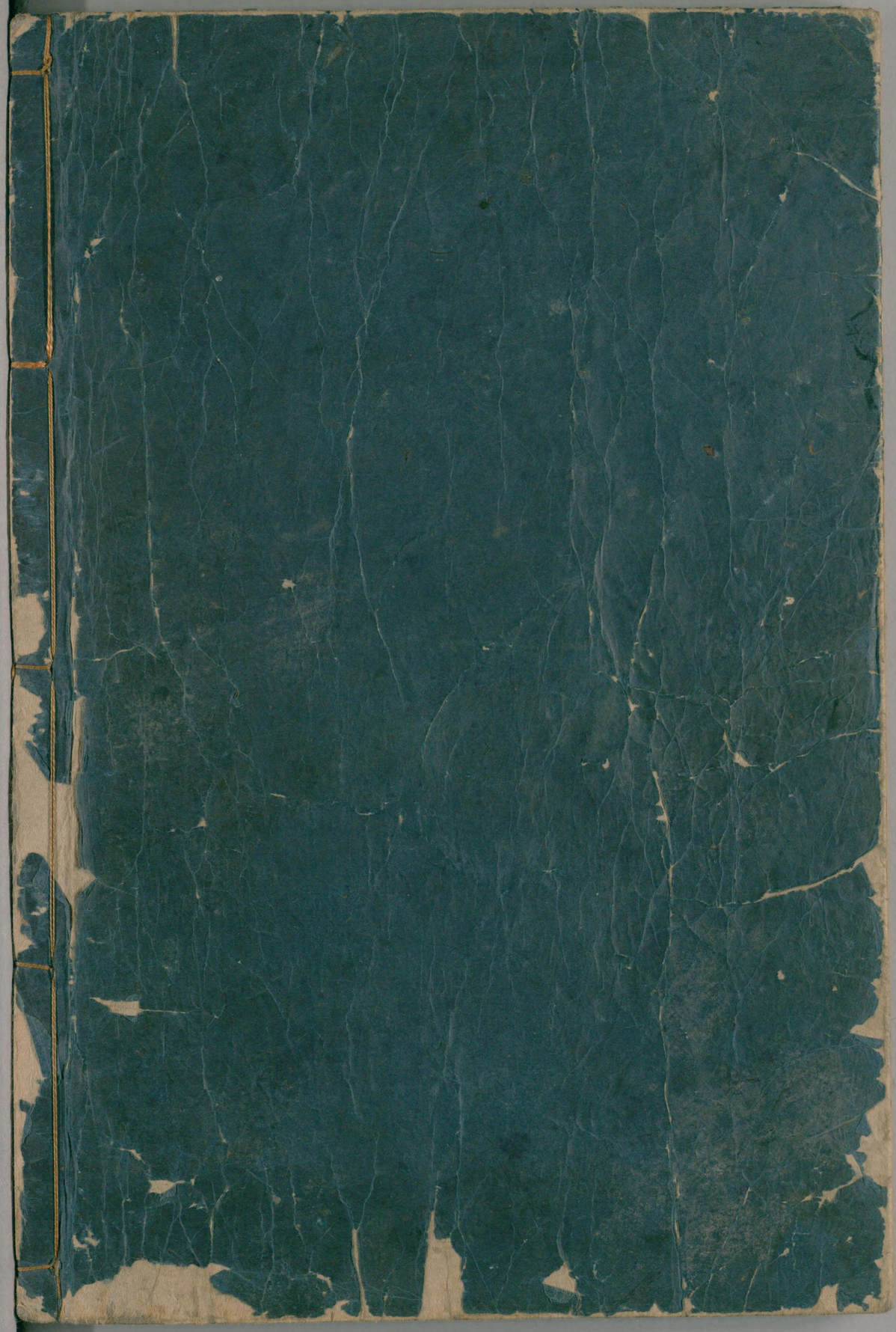
しばらくふくうをやこをきくまも
此塚うちをさ指いあけ永
のくねくろうてやまよさ見せきとき
兵庫すも作きあけ一もんのすこ治や
姫くそう乃来とけ家形ろ
まあいさ奉そりまそのあ
はうりをうさこ乃母のへの松とうらをき
きこよのこをうけ河の西方澤云いちうき
やもんあくいなくうちあ色くてあり夜おせ
きひたこうや後なうとをのうちそまこり

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28
ガラス使用

別13
25
28

もうけきよ月(のう)伺(うかゞ)家(いへ)濱(はま)の左(ひだり)ふ侍(さむらひ)ら里人(さとびと)をこのみ
いこ一浦(うら)もん抔(など)もまセ三(み)とせとやう一間(ま)
ほめんにまろうこう我(わ)こそ亜墨利加(あめりか)濱(はま)あとうくを
うら朝夕他会(たえ)あろうく移(うつ)んみや遊(あそ)ばよくこ
せんもの乃(の)あううをとるへて八十三とや
ふ大漁生(たいりやうせい)祝(いわ)ひをりうの家(いへ)濱(はま)うん中(なか)考(かんが)後(ご)
よ下(した)をこうへうんせぬ人(ひと)もなうろをまり

国立国会図書館　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28
ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『景清 2巻』 請求記号 本別13-28

ガラス使用